

平成 24 年（2012 年）の恵山の火山活動

札幌管区気象台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しました。

○2012 年の活動概況

・噴気などの表面現象の状況（図 1-①、図 2～9）

Y 火口の噴気の高さは火口縁上概ね 100m 以下で、噴気活動は低調に経過しました。

4 月 2 日、5 月 22 日、24 日及び 11 月 8～9 日に実施した現地調査、3 月 16 日、23 日に実施した上空からの観測（3 月 16 日は国土交通省北海道開発局、23 日は第一管区海上保安本部の協力による）では、各火口の状況に特段の変化はありませんでした。赤外熱映像装置¹⁾による観測でも、X 火口及び Y 火口の地熱域の状況に特段の変化はありませんでした。

1) 赤外熱映像装置による。赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を感知して温度や温度分布を測定する計器で、熱源から離れた場所から測定できる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

・地震及び微動の発生状況（図 1-②③）

3 月 30 日に振幅が小さく継続時間の短い火山性微動が発生しました。微動発生直後から振幅の小さな火山性地震が一時的に増加しましたが、それ以外は地震活動は低調に経過しました。

・地殻変動の状況（図 1-④）

GPS 連続観測では、火山活動によると考えられる地殻変動は認められませんでした。

この火山活動解説資料は札幌管区気象台のホームページ(<http://www.jma-net.go.jp/sapporo/>)や気象庁のホームページ(<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>)でも閲覧することができます。

※ 資料は気象庁のほか、国土地理院のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号 平23情使、第467号）。

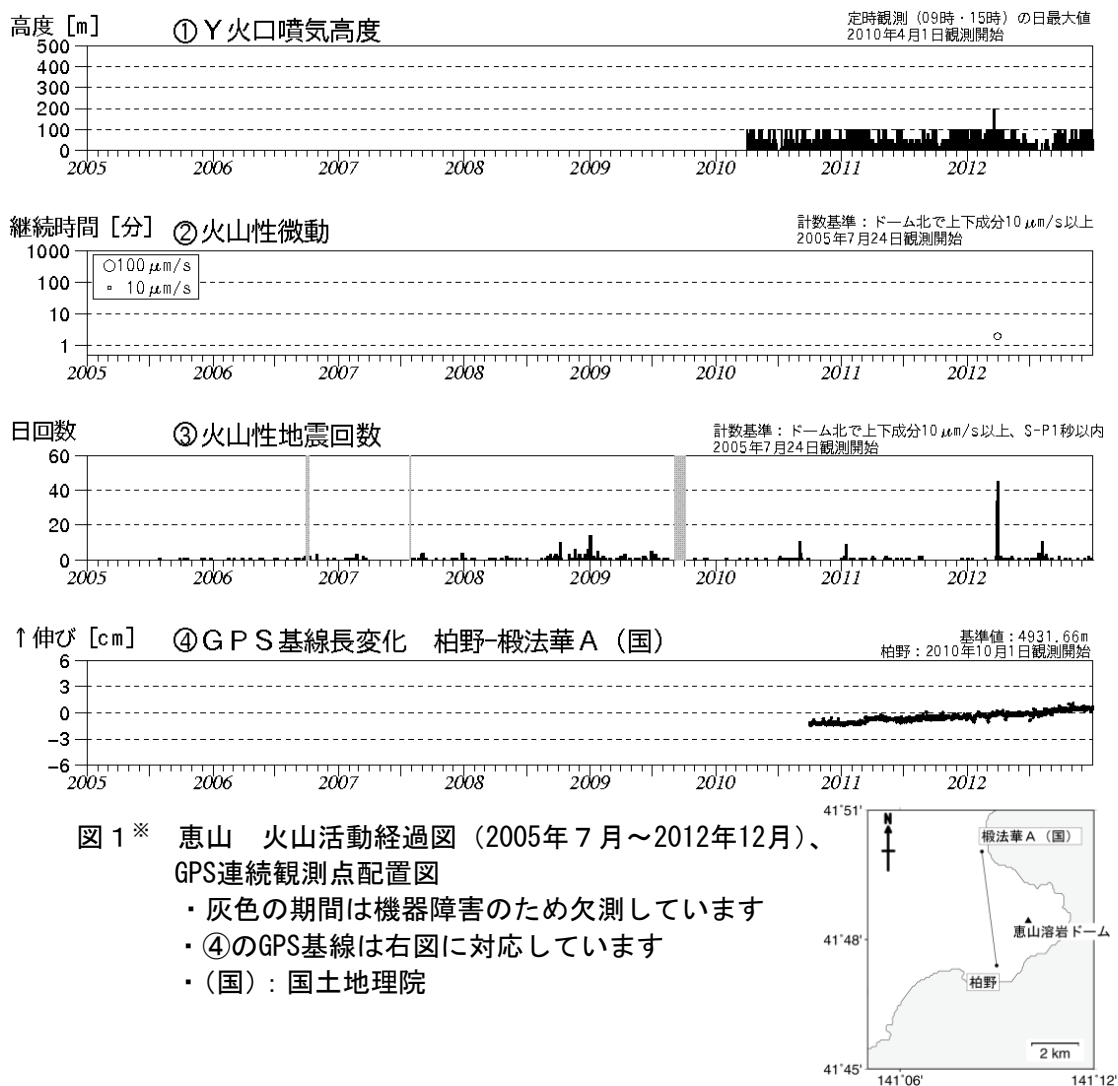


図 2 恵山 山頂部の状況 (12 月 19 日、^{たかだい}高倍遠望カメラによる)
破線円内は Y 火口からの噴気

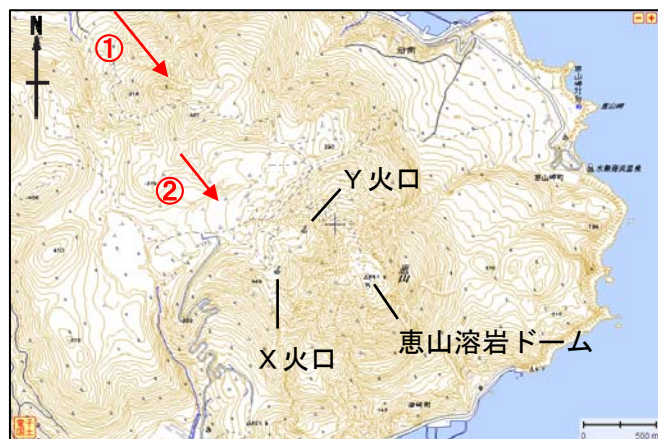


図 3 恵山 周辺図と赤外熱映像¹⁾及び写真の撮影方向 (矢印)



図 4 恵山 恵山溶岩ドーム周辺の状況
北西側上空 (図 3-①の矢印方向) から撮影

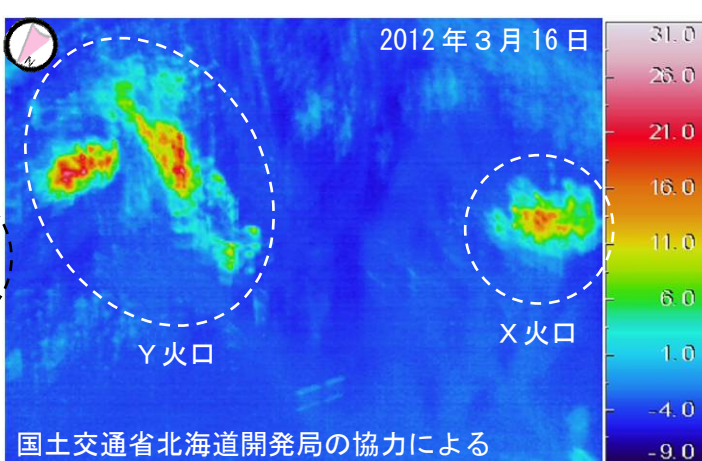
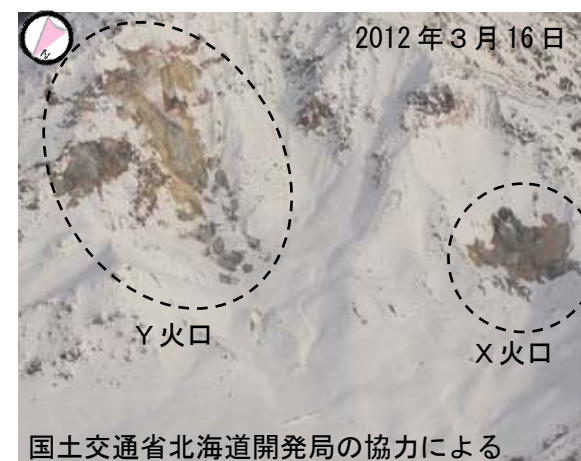
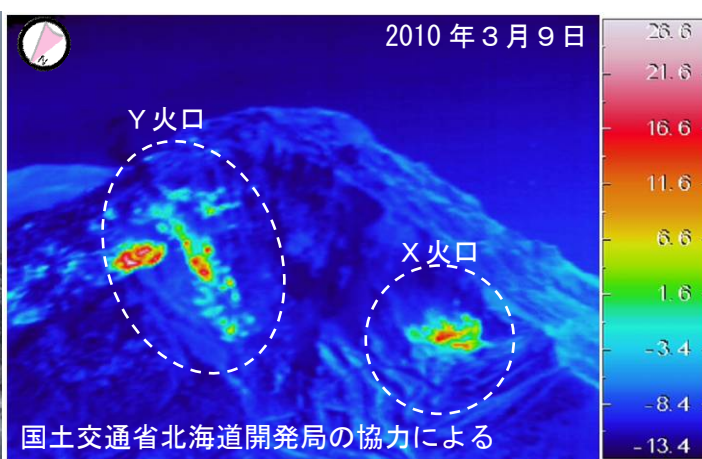


図 5 恵山 X 火口及び Y 火口周辺の地表面温度分布¹⁾ 北西側上空 (図 3-②の矢印方向) から撮影



図 6 恵山 恵山溶岩ドーム全景 北西側（図 7-①）から撮影

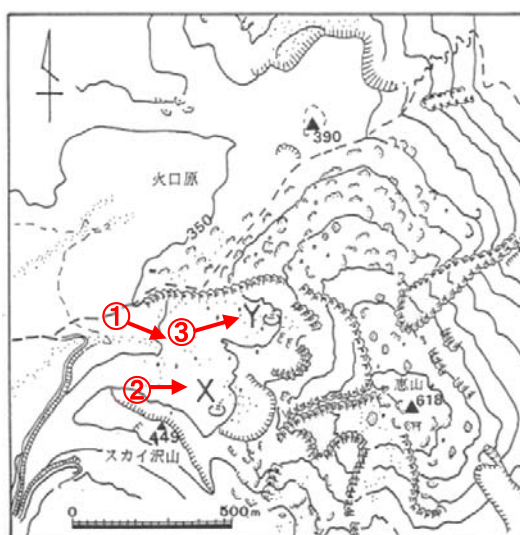


図 7 恵山 周辺図と赤外熱映像¹⁾ 及び写真の撮影方向（矢印）

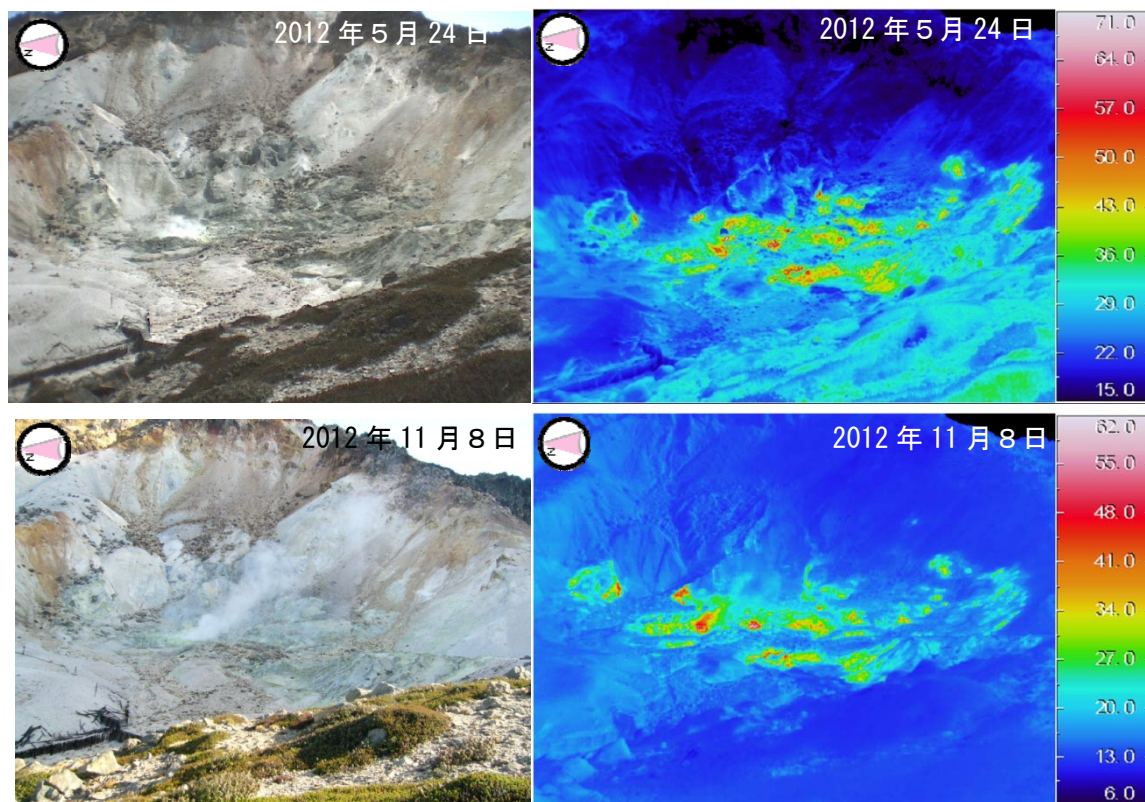


図 8 恵山 X 火口内の地表面温度分布¹⁾ 西側 (図 7-②) から撮影

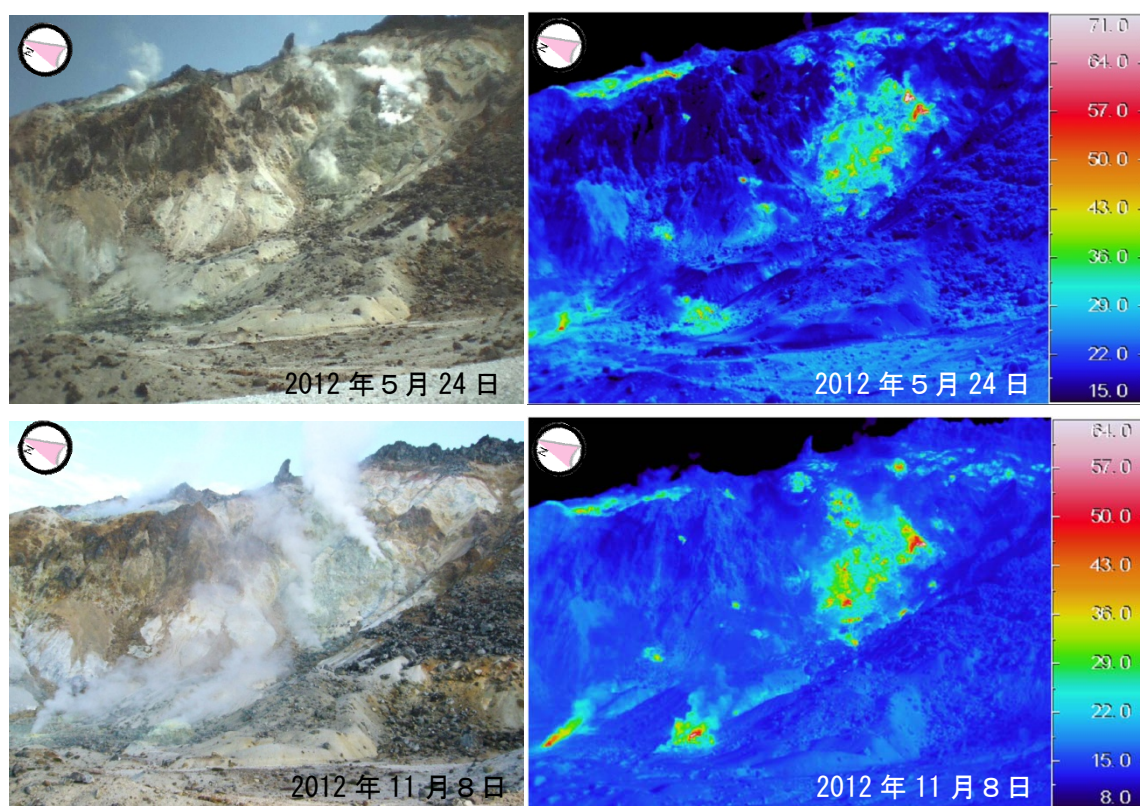


図 9 恵山 Y 火口内の地表面温度分布¹⁾ 西南西側 (図 7-③) から撮影

観測点情報

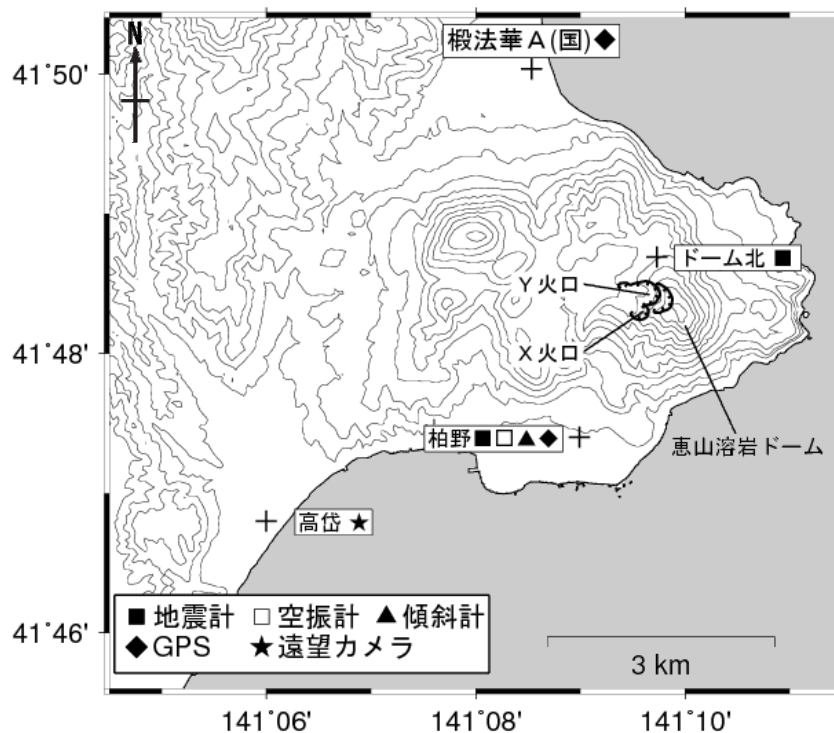


図10 恵山 観測点配置図

+印は観測点の位置を示します

気象庁以外の機関の観測点には以下の記号を付しています

(国)：国土地理院

気象庁観測点一覧表 恵山（緯度・経度は世界測地系）

記号	観測機器	地点名	位置			設置高 (m)	観測開始日	備考
			緯度 (度分)	経度 (度分)	標高 (m)			
■	地震計	ドーム北	41 48.69	141 09.73	369	0	2005 年 7 月 24 日	短周期
		柏野	41 47.40	141 08.99	41	-99	2010 年 9 月 1 日	短周期
□	空振計	柏野	41 47.4	141 09.0	41	3	2010 年 9 月 1 日	
★	遠望カメラ	高岱	41 46.8	141 06.0	8	13	2010 年 4 月 1 日	
◆	G P S	柏野	41 47.4	141 09.0	41	3	2010 年 10 月 1 日	2 周波
▲	傾斜計	柏野	41 47.4	141 09.0	41	-99	2011 年 4 月 1 日	